

福井新聞 2014.02.28

Fukui Shimbun

ストライプ柄をモチーフにした作品を展示している今井さんの個展＝東京・銀座の資生堂ギャラリー



ストライプ 踊る絵画

新進アーティストに発表の場を提供する公募プログラム「shiseido art egg」に福井市出身の画家、今井俊介さん(35)＝東京都在住＝が入選し、2日間で東京・銀座の資生堂ギャラリーで個展が開かれている。

公募プログラムは同ギャラリーが8年前から開いている。20～30代を中心に全国から324件の応募があり、審査の結果、

福井出身、今井さん東京で個展

今井さんら3人が入選した。3人は1～3月にそれぞれ1カ月間の個展を開催。今井さんの作品は2月7日から展示されている。

今井さんは高校の美術教師だった父親の影響で画家を志し、北陸高から武蔵野美大に進学。同大学院修了後は国内を中心に作家活動に取り組んでいる。

「range finder」と銘打った今

回の個展は、アクリル絵の具を用い、鮮やかな色彩のストライプを組み合わせた絵画と、ストライプ柄を染色した布の立体作品の計7点を発表。旗がたなびくようにストライプがゆがんだり、折り畳まれているような模様を描き、平面なのに立体感や奥行きを感じさせる作品となっている。

今井さんは「見る人によってさまざまな印象を持ってもらえたら」と話していた。